

(表)

様式第 3 号(第 32 条関係)

年 月 日

笛吹市消防署長 様

申告者 住所
職・氏名
電話番号

罹災申告書(車両・船舶・航空機・林野・その他)

1	罹災年月日	年 月 日	関係区分	☐ 所有者 ☐ 管理者 ☐ 占有者 ☐ 担保権者		
	罹災場所					
2 車 両	運転者名			購入年月	年 月	
	用途別	☐ 自家用 ☐ 事業用 ()		購入金額	円	
	車両番号			年式		
	物件(本体) 焼損状況・箇所			損害見積額	円	
	積載物・収容物 焼損状況・箇所			損害見積額	円	
3 船 舶 ・ 航 空 機	船長・機長名			船名・機名		
	用途・機種			就航年月	年 月	
	トン数 最大離陸重量			購入金額	円	
	物件(本体) 焼損状況・箇所			損害見積額	円	
	積載物・収容物 焼損状況・箇所			損害見積額	円	
4 林 野	焼けた樹木名等	樹齢	胸高直径	本数・面積	部分・程度	その他
		年	cm	本 a		
		年	cm	本 a		
		年	cm	本 a		
5 そ の 他	罹災した物	購入又は制作年月		購入又は制作費用	罹災別	
					☐ 焼損 ☐ 爆発 ☐ 他	
					☐ 焼損 ☐ 爆発 ☐ 他	
					☐ 焼損 ☐ 爆発 ☐ 他	
6 保 険	契約火災保険会社名			契約年月日	保険金額	
				年 月	万円	
				年 月	万円	

(裏)

備考

- 1 この申告書は、消防法 34 条第 1 項に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、罹災した日から起算して 7 日以内に提出してください。
- 3 記載要領
 - (1) 該当する□に✓を記入してください。
 - (2) (2 の欄)
用途別：乗用、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
 - (3) (3 の欄)
用途・機種：客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などの別を記入してください。
 - (4) (4 の欄)
胸高直径：材積測定に用いるもので、おおむね地面から 1.3m の直径を測定してください。
部分・程度：主に焼けた部分を記入してください。
 - (5) (罹災別の欄)
焼損：火災によって焼けたもの及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど
爆発：爆発により、壊れたものなど
他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど